

寝屋川市 学力調査の結果概要

(小学校・中学校)

平成21年度
全国学力・学習状況調査
学力調査結果報告

調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 国が全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況調査をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施設の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会や各学校が全国的な状況と関係において自らの教育及び教育施設の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査内容

- 小学校：国語A・算数A（主として、「知識」に関する問題）
国語B・算数B（主として、「活用」に関する問題）
- 中学校：国語A・数学A（主として、「知識」に関する問題）
国語B・数学B（主として、「活用」に関する問題）

(3) 調査対象

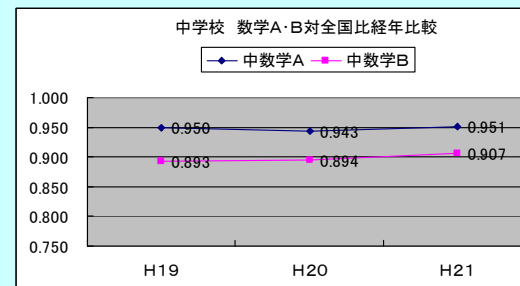
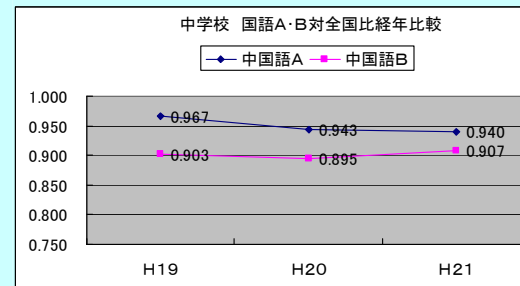
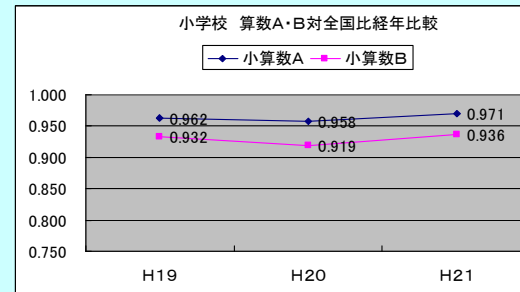
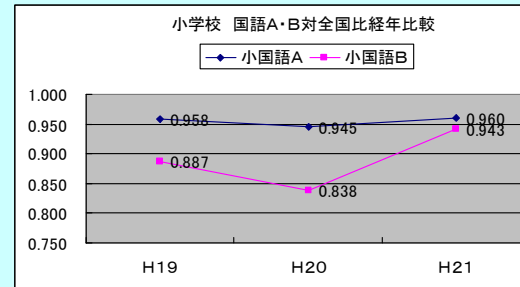
小学校 6年生（寝屋川市:2,226人 大阪府:79,667人 全国:1,137,808人）

中学校 3年生（寝屋川市:1,992人 大阪府:67,996人 全国:1,033,291人）

平均正答率

校種	教科	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	寝屋川市	67.1	47.6	76.4	51.3
	大阪府（公立）	68.3	49.4	78.4	53.8
	全国（公立）	69.9	50.5	78.7	54.8
中学校	寝屋川市	72.4	67.6	59.6	51.6
	大阪府（公立）	72.7	68.3	59.9	52.5
	全国（公立）	77.0	74.5	62.7	56.9

教科・区分別正答率比較・対全国経年比較



教科・区分別正答率等比較・対全国経年比較では、前年度と比較して、全国との差は、中学校国語A以外全て縮まっている。

各年度の平均正答率は、年度ごとの問題の難易度に大きく左右されるため、それらの条件を捨象して比較する必要がある。そこで全国平均正答率を1とした場合の寝屋川市の平均正答率の比で比較すると、中学校国語A区分問題以外は、過去2年間を全て上回っている。

【小学校国語】

自分の見聞や体験に基づいて考えを書くことは比較的に行えるが、資料（図表・グラフなど）から情報を読み取り、与えられた条件に沿って事実や考えを書くことに課題がある。

【小学校算数】

与えられた複数の条件を整理して、全ての条件を満たす結論を導き出すことに課題がある。

【中学校国語】

文章や資料を読んで、示された条件にあった表現で書くことに課題がある。

【中学校数学】

日常的な事柄を、一次関数の問題として、判断する方法を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

(文部科学省 調査結果のポイントより)